

# 施政方針

2月20日に開会の令和8年第1回  
ふじみ野市議会定例会で、市長が表明し  
た新年度の施政方針の概要をお知らせし  
ます。



## 市誕生20周年を 振り返り

令和7年10月1日、本市は誕生から20年という大きな節目を迎えました。そして、この記念すべき節目を迎えるに当たり、ふじみ野市誕生20周年記念式典を挙行するとともに、市民の皆さまと共にさまざまな記念事業を実施してまいりました。

記念事業の中ではクラウドファンディングを活用した三つのプロジェクトとして、「ふじ

み野市産のお酒を造りたい!」「記念給食を提供したい!」、そして「第九を歌いたい!」を実施いたしました。お酒造りでは、本市産米を原料として「河岸の蔵」と名づけられた特別純米酒と海中熟成酒の2種類が作られ、記念給食では、「ふじみん」の姿を施したメンチカツなどを提供し、そして、第九のコンサートでは、参加された皆さまの思いが一つになり、素晴らしいステージを創り上げ、終わった瞬間の達成感、そして、充実

感いっぱい表情は、今でも鮮明に覚えております。いずれも大成功のうちに終えることができました。ご賛同いただいた全ての皆さまに心から感謝申し上げます。

令和8年度におきましても、各種施策の展開において、誠心誠意取り組んでまいり所存でございます。そして、子どもから高齢の方々まで全ての皆さまがいつまでも健やかに暮らし続けることができるまちづくりを推進してまいります。

## 五つのまちづくり

今後の市政運営に当たりましては、これまで市民の皆さまにお示ししてまいりました五つの「まちづくり」を柱とした施策を推進してまいります。

まずは、私の政策の二丁目一番地であります「子ども優先のまちづくり」でございます。子育てにかかると経済的な支援や環境整備として、学校教育に係る費用の軽減や保育所におけるニーズに合わせた保育枠の拡大を図ってまいりたいと考えております。

次は、「誰もが健やかに暮らせるまちづくり」であります。市内循環ワゴンやお出かけサポートタクシーを運行しておりますが、文化施設や現在改修を行っている博物館、そして、駅や商業施設などを含めた、新たなルートも検討し、特に高齢の方々には外出機会の創出を図り、心身ともに健康で元気に過ごしていただきたいと考えております。併せて、「ふじみ野市に住む＝自然と健康になる」をスローガンとして、検診の充実と気軽に健康チェックや検診などができる体制づくりを関係機関と一体となって進めてまいります。

続きまして、「安全・安心のまちづくり」についてでございます。耐災害性の高い防災行政無線への更新に向けて取組を進めており、これに併せて防災ラジオ型の戸別受信機の導入を行ってまいります。さらに、街頭防犯カメラの設置を計画的に進め、より一層警察との連携強化を図ってまいります。

続きまして、「魅力と活気にあふれるまちづくり」でございます。上福岡駅東口駅前広場の整備につきましても最終段階に入ったものと考えており、早期の事業完了に向けて、引き続き、全力で取り組んでまいります。また、旧上福岡西公民館、博物館、運動公園野球場の改修などの取組を進め、さらに新たな企業誘致の促進に向けて、取り組んでまいりたいと考えております。

そして、「市民が主体のまちづくり」です。地域力の向上を目指すためには、地域コミュニティの醸成が必須であります。地域コミュニティの核となる自治組織の支援につきましても、これまで以上に踏み込んだ形での支援が必要であると考えております。今後は、集会所などの拠点整備の具現化に向けて、取組を進めてまいります。

## 新たな スタートの時

市民の皆さまと共に発展・成長してきたふじみ野市。私たちがこうして暮らしているのは、この地域のために一生懸命に汗を流してくれた先人たちの努力があったからこそであります。今、私たちがやるべきことは、先人たちが頑張ってきたように、未来ある子どもたちのために、汗を流すことだと思います。そして、頑張ってきた先人たちに安心して暮らしていただけるよう汗を流すこと。市民の皆さまと共に築き上げてきた歴史は、挑戦し続けてきた輝かしい軌跡であります。迎えた感慨深いこの節目は、ゴールではありません。新たなスタートの時です。挑戦はまだ続きます。まさに「未来に向けて今、ここから」であります。「このまちで暮らす全ての市民が一つの家族のようなあったかいまちにしたい。そして何より大切なことは、子どもたちの笑顔を増やすこと」。この思いを胸に、市民の命と暮らしを守ることを第一に、引き続き全身全霊で取り組んでいく所存でございます。

## 総務部

### ●総合防災訓練を実施

市民一人一人の防災意識の向上と、市と市民の防災対策の強化を図るため、地域における自主訓練や市内の指定避難所を開設する総合防災訓練を実施します。



### ●街頭防犯カメラの設置

市全体の防犯意識を高め、犯罪のない安全・安心なまちを目指し、街頭防犯カメラを設置します。

### ●地域防災力の向上に向けた支援

地域防災の要となる自主防災組織の充実および強化を図るため、自主防災組織の活動などに要する費用に対し補助を行います。

### ●防災ブックの作成

市民が災害リスクを認識し、有事の際に適切に対処するため、本年度から地震、洪水、内水の各ハザードマップを統合した上で、地

# 令和8年度の 主要事業

主な事業を、各部ごとに紹介します。

### ●Web口座振替申込みシステムの導入

域防災計画の概要版の情報とともに冊子化します。

利用者の利便性向上および収納率の向上を図るため、スマートフォンやパソコンなどを利用してインターネット上で24時間365日いつでも手続可能な口座振替受付サービスを開始し、口座振替申込み手続のオンライン化を図ります。



## 総合政策部

### ●市公式LINEメニューの拡充および個別配信機能の導入

きめ細かな情報提供や利用者の利便性向上を図るため、市公式LINEのメニュー画面を拡充し、子育て、シニアプロモーションなど多彩な情報を発信するとともに、受信内容を選択できる機能(セグメント配信機能)を導入します。



### ●おくやみコーナーの設置

亡くなられた人の必要な手続きを行う遺族の負担軽減を図るため、多岐にわたる手続きをワンストップで支援する「おくやみコーナー」の設置に向けた窓口システムを導入します。

### ●タウンミーティングを実施

市民の声を直接聴くとともに、市民への情報発信の場として、本年度と来年度の2カ年をかけて全自治組織を対象にタウンミーティングを実施します。



自治組織の防災訓練

## 市民生活部

### ●総合的な相談窓口の設置

複雑化・多様化する相談に対応するため、法的な手続きや家庭内のトラブル、日常生活のさまざまな悩みごとなどの各種専門相談を行い、関係部署と連携して支援します。

なお、本年度から大井総合支所の相談窓口の充実・強化を図り、休日開庁に併せて行政書士による生活総合相談を行い、弁護士相談の回数を増やします。

### ●人権問題に対する教育・啓発活動の推進

同和問題をはじめ、あらゆる人権問題の解決のため、研修会や部落差別の解消の推進に関する法律の周知など啓発事業を行います。

## 市民活動推進部

### ●自治組織の活動支援と加入促進

地域課題の解決と地域住民の福

### ●商店街空き店舗対策と創業促進に対する補助

市内商店街の活性化と新たに事業を開始する人の経営の安定化を図るため、本年度から対象要件を緩和し、空き店舗を利用した事業に要する費用および創業5年以内の人へ、販路開拓などの事業活動に必要な費用に対し補助を行います。

### ●農作物の生産性向上に対する補助

農業経営の効率化と農作物の安定供給を促進するため、農作物の効率的な生産と品質向上に要する機械導入などの費用、および病害虫の防除に要する費用に対し補助を行います。本年度は農政推進に向けた支援の更なる強化とイネカメムシなどの病害虫の発生状況をふまえ、補助を増額します。

## 福祉部

### ●民生委員・児童委員の活動支援

地域福祉の推進を図るため、民生委員・児童委員の活動を支援し

祉の向上のため、自治組織の日々の運営と防犯活動、環境美化活動、加入促進などの事業の他、デジタル化促進事業に対して補助を行います。

### ●おおい祭りの開催

祭りを通じて生まれる交流をまちの活性化につなげるため、おおい祭りに要する費用に対し補助を行います。



### ●文化施設の整備

市民の文化活動、生涯学習活動などの拠点となる文化施設を整備するため、旧上福岡西公民館の大規模改修を進め、令和9年7月のオープンを目指します。

### ●総合体育館の空調設置

WBG T(熱中症予防運動指針)値が年々高くなっている中、利用

ます。

本年度から民生委員・児童委員一人当たりの個人活動費を増額し、負担の軽減と活動の促進を図ります。

### ●お出かけサポートタクシー事業の実施

高齢者、障がい者、妊産婦などが外出するための交通手段を確保するため、タクシーの利用料金に対し補助を行います。なお、協力事業者の負担を軽減し、持続可能な事業とすることで高齢者などの交通手段を安定的に確保し、福祉の増進を図るため、本年度から協力事業者へ経費の一部を補助します。



### ●医療的ケア児などの支援体制の整備

医療的ケア児などが地域で安心して生活できるよう、受入体制を整備する事業者に対し補助を行います。また、人工呼吸器などの電

者が安全・安心にスポーツを楽しむ環境を整備するため、総合体育館に空調を設置し、本年10月から使用を開始します。



### ●部活動の地域連携

子どもたちが将来にわたってスポーツや文化芸術活動を継続できる機会を確保するため、学校と地域が連携し、地域の指導者や公共施設を活用して、子どもたちのニーズに応じた質の高い活動機会の提供を図ります。

### ●環境基本計画前期行動計画と一般廃棄物処理基本計画の策定

環境にやさしく、ごみの少ないまちふじみ野を構築するため、第3期環境基本計画前期行動計画と第5期一般廃棄物処理基本計画を策定します。

### ●TNR活動の促進

飼い主のいない猫の問題の解消に向け、TNR活動(飼い主のいない猫を捕獲し不妊・去勢手術を

源を必要とする人が、災害時に福祉避難所で優先して使用できるように非常用電源機器を設置します。

### ●新たな運動機器の導入

介護予防に係る取組の充実を図るため、大井総合福祉センターに新たな運動機器を導入します。

### ●一般介護予防事業の推進

フレイルなどを予防するため、地域に専門職を派遣して口腔・栄養・社会参加への取り組みについての重要性を普及啓発します。

### ●認知症施策の推進

認知症になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、認知症サポートスタッフ研修を行います。本年度は、身近な相談機関の地域包括支援センターで認知症サポート研修を新たに開催するなど、認知症の人の支援する輪を広げます。



施して元いた場所に返す活動)を促進するため、飼い主のいない猫に対する不妊・去勢手術に要する費用に対し補助を行います。



### ●高齢者などのごみ出し支援

世帯全員がごみ出しが困難な状況で、身近に協力が得られない高齢者、障がい者などに対し、日常生活の身体的負担の軽減などを行うため、戸別収集のごみ出し支援を行います。

### ●上福岡七夕まつりの開催

多くの市民の参加と観光客の誘致や地元産業と観光の振興を図るため、上福岡七夕まつりに要する費用に対し補助を行います。



## こども・元気健康部

### ●骨粗鬆症検診の実施

骨粗鬆症の早期発見と早期治療や予防のきっかけとするため、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳および70歳の女性を対象に骨粗鬆症検診を実施します。

### ●産後ケア事業の実施

産婦の心身の不調や産後うつなどを防ぐため、医療機関などの施設や自宅で、心身のケアや授乳指導・育児相談などが受けられる「産後ケア事業」を実施します。本年度から従来の宿泊型に加え、日帰り型と訪問型を導入し、多様なニーズに対応した事業展開を図ります。

### ●小児オンライン相談の実施

子どもの急な体調不良などに対する保護者の不安を軽減するため、平日夜間の小児オンライン相談を実施します。



# こども・元気健康部

## ●乳幼児健診の実施

乳幼児の疾病、その他の異常の早期発見、健全な発育の保持・増進を図るとともに、子育てに伴う親のストレスや育児負担を軽減し、支援につなげるため、さまざまな専門職による健診を行います。本年度から1カ月児健康診査に要する費用の助成を行い、切れ目のない相談支援の効果的な実施につなげます。



## ●産婦健康診査費用の助成拡充

母体の健康状態の確認や産後うつなどを防ぐため、産婦健康診査に要する費用の助成を行います。本年度から産後2週間の産婦健康診査費用にも助成を拡充し、産後うつなどの予防や早期発見につなげます。

## ●市内循環ワゴンの運行

市内における持続可能な公共交通ネットワークの維持および存続のため、民間路線バスと相互に補完する定時定路線型の乗合ワゴン(愛称:ふじみん号)を運行します。



## ●市内公園の維持管理と再整備

安全・安心な市民の憩いの場として集える公園などを提供するため、公園などの維持管理を行い、老朽化した公園などの再整備を行います。

本年度は運動公園野球場、第2運動公園体育館および武道場の改修工事を行います。

## ●老朽化した水道管の更新

安全・安心な水道水を安定的に供給するため、老朽管の更新(布

## ●「こころの体温計」の導入

こころの健康や自殺予防の推進を図るため、ストレス状況や落ち込み度などを自分で気軽にチェックできるシステム「こころの体温計」を導入します。



## ●妊婦へのRSウイルス予防接種の実施

RSウイルス感染症による乳児の重症化リスクを抑えるため、妊娠28週から36週の妊婦を対象にRSウイルス予防接種を実施します。

## ●市立保育所の運営

安心して子育てできる環境づくりを進めるため、保育行政の基幹的役割を果たす市立保育所を運営します。物価高騰による賄材料費の増加分について保護者負担を軽減し、質・量ともにバランスのとれた、安全で安心な給食を継続的に提供していきます。

# 教育部

## ●小・中学校の環境整備および大規模改造

学校施設を計画的に維持・改修していくため、東原小学校などの大規模改造工事を行います。

また、児童・生徒の良好な学習環境を確保し、エネルギー消費量の抑制を図るため、小・中学校校舎の照明器具を計画的にLED照明に改修します。

## ●単元テストのCBT化、ICT教育の推進

学習データの蓄積や、より詳細な学習分析、迅速な結果のフィードバックにより個別最適な学びを推進するとともに、教材費の保護者負担軽減を図るため、市内の小中学校で実施している単元テストのCBT化(デジタル化)を行います。

## ●幼児教育・保育施設と民間保育所などの運営支援

幼児期の教育・保育などを行う幼稚園などの利用に対し給付を行います。民間保育所などの健全な運営と入所児童への質の高い保育の提供を支援するため、運営や各種事業に要する費用に対し補助を行います。

市立保育所と同様に民間保育所の物価高騰などの影響による食材費の上昇分を支援します。

## ●こども誰でも通園制度の実施

本年度から「こども誰でも通園制度」を開始し、子育て家庭に対して、保護者の多様な働き方やライフスタイルにかかわらず形での支援を強化します。

# 都市政策部

## ●空家などの発生の予防、適切な管理および活用を促進

空家などの発生予防や適正管理と活用促進を図るため、市の空家などに関する対策を総合的かつ計画的に実施します。

## ●地域協働学校および地域学校協働活動の推進

地域の教育力を活用し、学校を核とした人づくり・まちづくりの拠点となる地域協働学校を市内18校において推進します。

また、市内の小・中学校に地域コーディネーターを配置します。放課後の子どもたちの安全な居場所を確保しながら、地域の皆さんの協力を得て、さまざまな体験や学びの機会を提供し、地域との交流の中で子どもたちが健やかに育まれる環境づくりを推進します。



## ●小・中学校の児童生徒への給食の提供

市内の小・中学校に通学する児童・生徒に対し、質・量ともにバ

## ●上福岡駅東口駅前広場の整備

上福岡駅東口駅前広場の安全性・利便性の向上を図り、魅力的な駅前広場の創出に向け、関係権利者に理解、協力をいただきながら、整備の推進を図ります。



## ●道路の舗装修繕および改修工事

安全で安心して道路を通行することができるよう、破損や著しく老朽化した道路・水路などの補修および修繕工事を行います。バリアフリー対策として街路樹の根上りによる歩道舗装隆起部分の解消を図ります。

## ●博物館の整備・運営

ことし9月の開館を目指し、旧大井郷土資料館と旧大井図書館の建物を改修し、市立博物館として整備します。

市全体の歴史・文化を分かりやすく学べるよう、常設展示や体験講座などの各種教育普及事業を実施します。また、市民参加型のジオラマ作成や、市内の小中学校と連携した体験学習を行います。

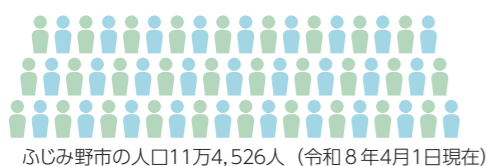
多くの皆さんに親しまれる施設を目指し、ミュージアムグッズの販売やホームページ内の特設サイトでイベント情報などを発信します。



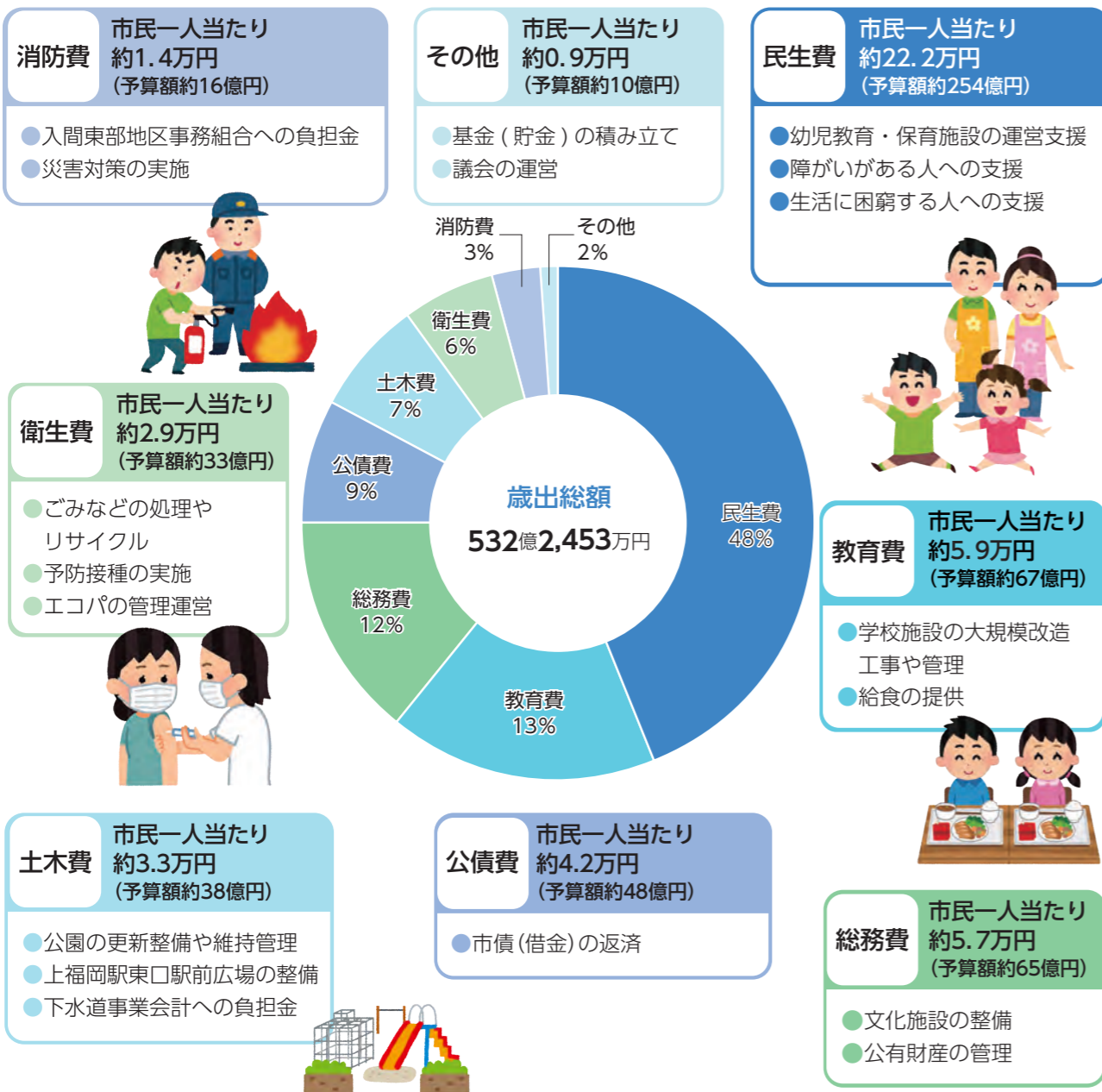
# ふじみ野市の新年度予算が決定しました

## 歳出

一般会計歳出 ふじみ野市全体  
532億2,453万円



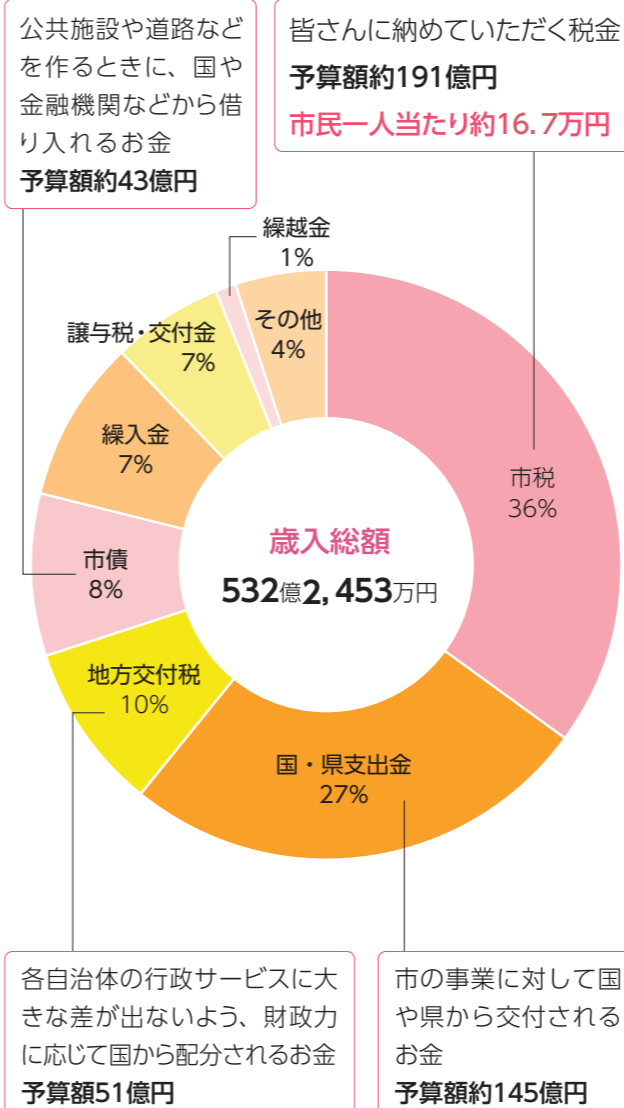
一般会計歳出 市民一人当たり  
約46.5万円



## 歳入

皆さんが納めているこれらのお金が市の収入です。

- 一般会計**
  - 市税
  - 学校給食費
  - 公共施設などの使用料
  - 証明書発行手数料
  - 寄附
  - など
- 特別会計**
  - 国民健康保険税
  - 介護保険料
  - 後期高齢者医療保険料
  - など
- 企業会計**
  - 水道料金
  - 下水道使用料
  - など



市の会計は、一般会計、特別会計、企業会計の3つに分かれています。

一般会計は、市民生活全般にわたる仕事を行うために必要な経費や、そのための収入を経理する会計で、市の会計の基本です。令和8年度の一般会計の当初予算額は532億2,452万6千円で、前年度と比較して4億5,758万円(+0.9%)の増額となりました。

特別会計と企業会計は、特定の事業を特定の収入によって行うため、独立した会計を設けて管理を行います。

※市ホームページに各会計の資料を掲載しています。

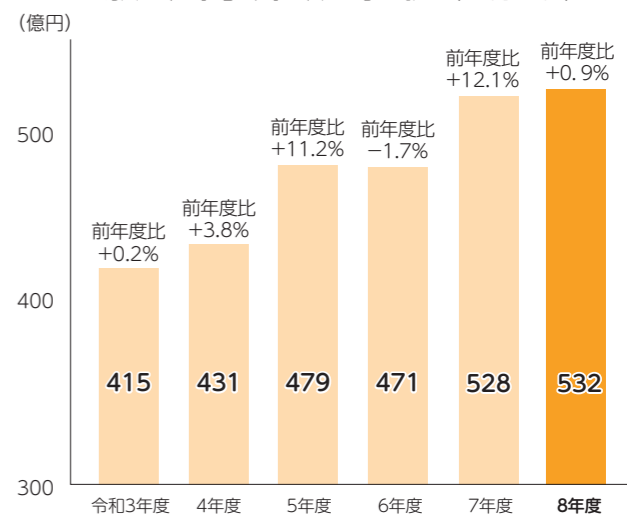


財 政 課 (TEL 049・262・9004)

### 新年度の会計別当初予算額

会計	当初予算額 (前年度比)
一般会計	532億2,452万6千円 (+0.9%)
特別会計	
国民健康保険	96億3,182万6千円 (-2.0%)
介護保険	105億5,207万円 (+4.3%)
後期高齢者医療事業	20億7,320万5千円 (+13.8%)
企業会計	
水道事業	
収益的収入	21億1,233万8千円 (-2.3%)
収益的支出	20億2,068万8千円 (+6.9%)
資本的収入	6億9,016万円 (+26.9%)
資本的支出	9億2,307万3千円 (+4.7%)
下水道事業	
収益的収入	19億3,305万6千円 (+3.7%)
収益的支出	19億9,865万5千円 (+10.8%)
資本的収入	8億8,184万1千円 (-19.9%)
資本的支出	10億8,049万7千円 (-12.9%)

### 一般会計予算額の推移 (当初比較)



※ふじみ野ステラ・イーストホール棟の建設工事費などの減額や、障がい者福祉サービス費などの増額により、前年度とほぼ同水準となりました。